

## ▼ ミッション ▼

校長 阿南 孝也

ブラザー・マルセル・ツペンが、ご病気のために、今年の2月6日に帰天されました。87歳でした。58年間にわたり、洛星で労務職員として働いてくださいました。ブラザー・ツペンは、13人兄弟の13番目として、カナダ東部モントリオール郊外にお生まれになりました。13名の内7名が司祭、ブラザー、シスターになられたのだそうです。5年前にカナダで亡くなられたお兄様のブラザー・ミッシェル・ツペンも、50年にわたって洛星や修道院、カトリック北白川教会で尊いお働きをしてくださった方でした。

ブラザー・マルセル・ツペンは、学校のすべての行事、中でも宗教行事には欠かせない方でした。またペンキ塗りや芝刈り、修繕や清掃作業などに、黙々と当たってくださいました。常にロザリオを手元において、祈りを大切にされたブラザーでした。

ブラザーと言えば、誰もが、トゥリオンフを高らかに歌い上げる美声が思い浮かぶことでしょう。10月21日は学園の守護者聖ヴィアトールの記念日であり、洛星の創立記念日です。創立記念ミサの閉祭は、修道会の聖歌トゥリオンフを全校生徒と教職員がフランス語で歌いますが、中ほどのソロ部分は、必ずブラザーが歌うことに決まっていました。創立を祝う喜びが最高潮に達する瞬間でした。

ブラザーの葬儀ミサは、2月9日、学校に隣接する修道院で行われました。鐘の音が鳴り響く中、全校生徒が手を合わせてお見送りし、ブラザーへの感謝の念を新たにすることができました。日本で骨を埋めたいというブラザーの願い通りに、左大文字の中腹にある、ヴィアトル修道会のお墓に納骨されました。

聖堂前の壁面に、学校とヴィアトル修道会の歩みが年表として掲示されています。あわせて、創立以来学校で働いてくださったヴィアトル修道司祭22名、ブラザーとお呼びしている修道士13名お一人お一人の写真が掲げられています。

洛星はミッションスクールと呼ばれます。宣教師“missionary”の“mission”は「伝道」という意味の言葉です。伝えるべきこと、それはもちろん「神の愛」です。神が一人一人の人間を無条件で愛して下さっていること、そして、その愛に応えて、周りの人や世界中の人を大切にする、優しく強い心を持った人となれるよう導くことです。

理事長や校長として学校の進むべき道を示し、先導して下さった方々、宗教科や英語科の教師として教え導いてくださった会員も大勢おられます。一方で、ブラザー・ツペンのよう

に、縁の下の力持ちとなって活躍された会員もおられるのです。洛星で学んだ生徒たちは、黙々と働くブラザーの背中から、どれほど多くの大切なことを教えられて巣立って行ったことでしょう。

「仕えられるためではなく、仕えるために来た」 マタイによる福音書20章.28節

遠い日本の地で、言葉や文化の違いを乗り越えて“mission”を生き抜かれたヴィアートル修道会員の方々を、敬愛してやみません。

定期考査が始まります。洛星は、ブラザーをはじめ大勢の方々のご尽力により、学ぶ雰囲気満ちた学園環境が保たれていることを、嬉しくまたありがたく思っています。洛星で学ぶ皆さん、よい準備をして考査に臨んでください。真の学力向上の機会として、考査を活用してくれることを願っています。